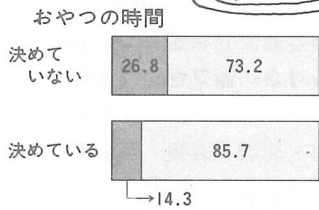


こんにちは 保健婦です

ムシバまれている子どもの歯

(パート2) ~1歳6か月児健診の結果から~

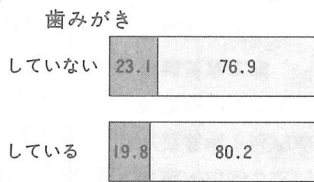


おやつを食べる時間を決めていない子どもが、むし歯になりやすいことがわかります。おやつを1日中ぐらぐら食べていると、口の中がいつもよごれたままになってしまからです。

また、いつもお腹がいっぱいなので、三度の食事が食べられないことにもなります。時間をきちんと決めるようにしましょう。

〈おやつ時間とむし歯〉

歯みがきをしていない子どもが、むし歯になりやすいことがわかります。しかし、みがければいいというものではありません。子どもだけでみがくと、どうしてもみがき残しがでてしまいます。みがいたあとは、必ず、お母さんが仕上げみがきをしてあげましょう。



健診の結果から簡単にむし歯予防の方法をのべてきました。このほかにも

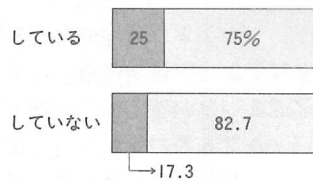
- ①おやつの内容を考えること(スナック菓子やアイスクリームより、なるべく手づくりのものにする。)
- ②歯医者さんで健診を定期的に受けること
- ③かたいものを食べる

などにも心がけたいものです。

もし、むし歯になってしまったら、すぐに受診しましょう。むし歯は放っておくとどんどん悪くなり、決してよくなることはありません。それに、早いうちなら治療も簡単です。かかりつけの歯医者さんを決めておくのも大切ですね。

家族みんなで協力し合い、子どもをむし歯から守りましょう。

哺乳ビンを使用しているか



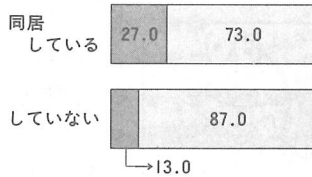
グラフをみると哺乳ビンを使用している子どもが、むし歯になりやすいことがわかります。特に、哺乳ビンで飲みながら寝てしまうと、歯のよごれが落ちないままになってしまからです。また、中にジュースやヤクルト、カルピスなどの乳酸飲料を入れるのも好ましくありません。

哺乳ビンは1歳頃までにやめさせたいですね。

むし歯予防の方法について1歳6か月児健診での現状をみながら説明しましょう。



〈哺乳ビンとむし歯〉



祖父母と同居している方がむし歯になりやすいことがわかります。原因ははっきりしませんが、孫の喜ぶ顔見たさに、おやつの時間に関係なく甘い菓子類をあげてしまっているからではないかと思われます。おじいちゃん、おばあちゃんだけが悪いとは言いきれません。けれど、ちよつと今までのことを振り返ってみてください。むし歯で痛い思いをするのは、他ならぬかわいなお孫さんなのですから……。

〈祖父母の同居とむし歯〉



むし歯のない子どもの割合

割合	80.2%
----	-------

むし歯のある子どもの割合

割合	19.8%
----	-------

